

平成28年度

定期監査結果報告書

甲州市監査委員

甲 州 監 第 4 1 号

平成28年12月14日

甲 州 市 議 会
甲 州 市 長
甲 州 市 教 育 委 員 会
甲 州 市 選 挙 管 理 委 員 会
甲 州 市 公 平 委 員 会
甲 州 市 農 業 委 員 会
甲州市固定資産評価審査委員会 様

甲州市監査委員 長 瀬 静 男

甲州市監査委員 古 屋 久

平成28年度定期監査の結果報告について

地方自治法第199条第4項の規定に定める監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を報告します。

目 次

【定期監査】

1	監 査 の 範 囲	1
2	監 査 の 対 象	1
3	監 査 の 期 間	1
4	監 査 の 方 法	1
5	監 査 の 結 果	1
	1 一般会計	2
	2 国民健康保険事業特別会計	4
	3 診療所事業特別会計	6
	4 後期高齢者医療特別会計	7
	5 介護保険事業特別会計	8
	6 居宅介護予防支援事業特別会計	9
	7 訪問看護事業特別会計	10
	8 下水道事業特別会計	11
	9 簡易水道事業特別会計	12
	10 財産区特別会計	13
	11 水道事業会計	14
	12 勝沼ぶどうの丘事業会計	16
	13 勝沼病院事業会計	18
	14 基金	20

平成 28 年度 定期監査報告

1 監査の範囲

平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日までに執行された財務事務及び事務事業に関する事項

2 監査の対象

市長部局、会計課、議会事務局、教育委員会及び公営企業（水道、勝沼ぶどうの丘、勝沼病院）における一般会計、各特別会計及び公営企業会計の予算執行状況

3 監査の期間

平成 28 年 10 月 3 日から平成 28 年 11 月 28 日まで

4 監査の方法

監査はあらかじめ各課から提出された資料に基づいて財務関係諸帳簿の審査を行うとともに、事務事業執行状況及び予算執行状況について、各課長及び関係職員から説明を聴取し、さらに質問を加え、監査を実施した。

また建設課、教育委員会教育総務課については現場検査をあわせて実施した。

5 監査の結果

予算の執行状況は、昨年同期と比較して、一般会計、特別会計ともほぼ同じような状況で推移をしており、おおむね順調であると思われる。

監査の結果は次に述べるとおりであるが、監査時において気づいた簡易な事項については、その都度口頭で指摘し、改善を必要とする項目について指示を行った。

今後も経費の節減と創意工夫による予算執行に配慮しつつ、更なる市民福祉の向上に努められることを期待するものである。

(注) 本書において表示する比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。

1 一般会計

予算の執行状況

歳入

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 市 税	3,998,351,000	4,013,447,348	2,520,236,658	63.0
2 地 方 譲 与 税	122,000,000	31,476,000	31,476,000	25.8
3 利 子 割 交 付 金	5,800,000	2,547,000	2,547,000	43.9
4 配 当 割 交 付 金	25,000,000	3,741,000	3,741,000	15.0
5 株式等譲渡所得割交付金	17,000,000	0	0	0.0
6 地方消費税交付金	549,000,000	310,916,000	310,916,000	56.6
7 ゴルフ場利用税交付金	16,500,000	7,208,600	7,208,600	43.7
8 自動車取得税交付金	27,000,000	6,096,000	6,096,000	22.6
9 地方特例交付金	11,221,000	11,221,000	11,221,000	100.0
10 地方交付税	5,645,455,000	3,636,493,000	3,636,493,000	64.4
11 交通安全対策特別交付金	3,700,000	1,982,000	1,982,000	53.6
12 分担金及び負担金	343,794,000	169,511,920	161,499,722	47.0
13 使用料及び手数料	244,446,000	179,533,288	101,401,713	41.5
14 国庫支出金	1,769,515,640	559,104,489	459,527,608	26.0
15 県 支 出 金	996,961,000	96,882,162	73,410,101	7.4
16 財 産 収 入	14,881,000	3,443,288	1,984,340	13.3
17 寄 附 金	502,100,000	230,192,245	229,602,245	45.7
18 繰 入 金	976,767,000	630,355	138,283	0.0
19 繰 越 金	370,477,260	1,015,254,026	1,015,254,026	274.0
20 諸 収 入	222,994,000	47,389,743	27,617,381	12.4
21 市 債	2,009,400,000	12,900,000	12,900,000	0.6
歳 入 合 計	17,872,362,900	10,339,969,464	8,615,252,677	48.2

繰越額を含む予算現額 17,872,362,900 円に対し、収入済額は 8,615,252,677 円で、収入率は 48.2%であった。

主な歳入のうち、自主財源である市税の収納状況は、調定額に対する収納率は 62.8%であり、昨年同時期の 62.3%より若干上がっている。

市税の内訳では、市民税が 833,424,344 円、固定資産税が 1,435,536,100 円、都市計画税が 509,070 円、軽自動車税が 124,506,504 円、市たばこ税が 116,207,115 円、入湯税 10,053,525 円等となっている。

その他の歳入では、科目により収入時期が年度末となるものもあるため、一部収入率が低い科目もみられるが、おおむね順調な収入状況である。

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

・地方交付税や交付金の減少など、昨今の厳しい財政状況の中では、自主財源の確保が重要となってきており、その中でも市税や使用料等の滞納未収金の整理は急務である。市税については収納率が全国平均を上回るなど一定の成果が得られてはいるが、税以外の使用料等の滞納未収金については、目立った成果を確認することができない。未収金の収納活動については甲州市収納対策連絡会議等における今後の取り組みに期待をするとともに、厳しい財政状況の中ではあるが、中長期的な計画により健全な財政運営に向けて引き続き積極的な対応を願うものである。

歳出

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(A-B)	執行率(B/A)
1 議 会 費	178,114,000	86,008,378	92,105,622	48.3
2 総 務 費	2,817,104,000	1,033,247,961	1,783,856,039	36.7
3 民 生 費	4,782,804,000	1,893,160,188	2,889,643,812	39.6
4 衛 生 費	1,752,729,900	555,844,784	1,196,885,116	31.7
5 労 働 費	25,780,000	19,458,740	6,321,260	75.5
6 農 林 水 産 業 費	902,406,000	145,513,487	756,892,513	16.1
7 商 工 費	402,253,000	226,642,432	175,610,568	56.3
8 土 木 費	2,110,394,000	287,910,551	1,822,483,449	13.6
9 消 防 費	681,045,000	421,698,620	259,346,380	61.9
10 教 育 費	2,003,222,000	763,521,064	1,239,700,936	38.1
11 公 債 費	2,189,499,000	1,130,305,182	1,059,193,818	51.6
12 予 備 費	27,012,000	0	27,012,000	0.0
歳 出 合 計	17,872,362,900	6,563,311,387	11,309,051,513	36.7

繰越額を含む予算現額 17,872,362,900 円のうち、支出額は 6,563,311,387 円で予算に対する執行率は 36.7%となっており、昨年同時期の 32.6%より 4.1%上昇している。

8 款土木費は、他の科目と比較して執行率が低いが、測量設計、農繁期等が上半期となる関係で、工事執行が下半期に集中するためである。

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

・各課においては全体的な予算状況を見極めながら、早期執行に心がけるとともに、引き続き経費節減に取り組み、市全体の歳出の予算執行が効率的かつ効果的に行えるよう努力されたい。

2 国民健康保険事業特別会計

予算の執行状況

歳入

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 国民健康保険税	1,057,768,000	1,231,562,216	454,305,776	43.0
2 分担金及び負担金	114,000	26,300	26,300	23.1
3 使用料及び手数料	800,000	117,500	117,500	14.7
4 国庫支出金	1,069,689,000	510,142,000	444,803,000	41.6
5 療養給付費交付金	121,467,000	55,477,081	50,258,000	41.4
6 前期高齢者交付金	911,620,000	379,923,711	379,923,711	41.7
7 県支出金	266,508,000	0	0	0.0
8 共同事業交付金	1,249,718,000	526,973,571	526,973,571	42.2
9 財産収入	130,000	83,197	83,197	64.0
10 繰入金	403,432,000	0	0	0.0
11 繰越金	74,000	74,041	74,041	100.1
12 諸収入	6,103,000	8,288,988	8,183,060	134.1
歳入合計	5,087,423,000	2,712,668,605	1,864,748,156	36.7

予算現額5,087,423,000円に対し、収入済額は1,864,748,156円で、収入率は36.7%であった。歳入の主なものは、国民健康保険税、国庫支出金、前期高齢者交付金及び共同事業交付金である。

歳出

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(C)	執行率 (B/A)
1 総務費	70,497,000	26,443,143	44,053,857	37.5
2 保険給付費	2,943,969,000	1,251,961,068	1,692,007,932	42.5
3 後期高齢者支援金等	542,102,000	226,028,487	316,073,513	41.7
4 前期高齢者納付金等	387,000	168,692	218,308	43.6
5 老人保健拠出金	31,000	18,635	12,365	60.1
6 介護納付金	227,519,000	93,341,674	134,177,326	41.0
7 共同事業拠出金	1,172,506,000	514,027,415	658,478,585	43.8
8 保健事業費	89,429,000	11,669,127	77,759,873	13.1
9 諸支出金	5,181,000	2,252,897	2,928,103	43.5
10 公債費	15,802,000	0	15,802,000	0.0
11 予備費	20,000,000	0	20,000,000	0.0
歳出合計	5,087,423,000	2,125,911,138	2,961,511,862	41.8

予算現額5,087,423,000円に対し、支出額は2,125,911,138円で、執行率は41.8%であった。歳出の主なものは、保険給付費、後期高齢者支援金等及び共同事業拠出金である。

指摘事項・指導事項

- ・なし。

要望事項

・国民健康保険税収入については、事業の主な財源であるが、依然として収入未済額があり国保会計を圧迫する要因の1つとなっている。

納税相談や納付指導の実施など担当職員の努力もあるが、関係課とのより一層の連携や協力を図り、更なる収納率向上に努力をされたい。

・健康づくりに対する啓発や健康診断の受診率向上など予防事業の充実を図り、今後も一層の医療費の抑制への取り組みに努力されたい。

3 診療所事業特別会計

予算の執行状況

歳入

(単位:円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 診療収入	47,929,000	16,108,100	15,568,118	32.5
2 使用料及び手数料	600,000	264,200	264,200	44.0
3 繰入金	20,888,000	0	0	0.0
4 繰越金	1,000	1,165,277	1,165,277	著増
5 諸収入	30,000	20,735	18,020	60.1
歳入合計	69,448,000	17,558,312	17,015,615	24.5

予算現額 69,448,000 円に対し、収入済額は 17,015,615 円で、収入率は 24.5%であった。
歳入の主なものは、診療収入及び繰越金である。

歳出

(単位:円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(C)	執行率 (B/A)
1 総務費	39,220,000	23,194,772	16,025,228	59.1
2 医業費	24,188,000	9,676,621	14,511,379	40.0
3 施設管理費	1,258,000	278,200	979,800	22.1
4 公債費	2,782,000	1,391,425	1,390,575	50.0
5 予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0
歳出合計	69,448,000	34,541,018	34,906,982	49.7

予算現額 69,448,000 円に対し、支出額は 34,541,018 円で、執行率は 49.7%であった。
歳出の主なものは、総務費及び医業費である。

指摘事項・指導事項

- ・なし。

要望事項

- ・甲州市の地域医療の主力として、継続して在宅診療などへの取り組みを図られたい。

4 後期高齢者医療特別会計

予算の執行状況

歳入

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 後期高齢者医療保険料	297,550,000	280,939,010	127,382,350	42.8
2 使用料及び手数料	2,000	30,600	30,600	著増
3 繰 入 金	100,329,000	0	0	0.0
4 繰 越 金	1,000	255,163	255,163	著増
5 諸 収 入	1,404,000	411,260	411,260	29.3
歳 入 合 計	399,286,000	281,636,033	128,079,373	32.1

予算現額 399,286,000 円に対し、収入済額は 128,079,373 円で、収入率は 32.1%であった。
歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料である。

歳出

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(C)	執行率 (B/A)
1 総 務 費	2,568,000	258,454	2,309,546	10.1
2 後期高齢者医療広域連合納付金	394,817,000	130,056,160	264,760,840	32.9
3 諸 支 出 金	1,401,000	432,600	968,400	30.9
4 予 備 費	500,000	0	500,000	0.0
歳 出 合 計	399,286,000	130,747,214	268,538,786	32.8

予算現額 399,286,000 円に対し、支出額は 130,747,214 円で、執行率は 32.8%であった。
歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金である。

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

・保険料については、現年度分の収入未済額を生じさせないことや、滞納繰越分の解消に向けてその取り組みに努力されたい。

5 介護保険事業特別会計

予算の執行状況

歳入

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 保 険 料	688,345,000	717,902,800	361,999,900	52.6
2 使用料及び手数料	80,000	22,800	22,800	28.5
3 国 庫 支 出 金	829,154,000	426,613,960	426,613,960	51.5
4 支 払 基 金 交 付 金	885,651,000	393,109,000	393,109,000	44.4
5 県 支 出 金	592,197,000	225,284,000	225,284,000	38.0
6 財 産 収 入	27,000	23,286	23,286	86.2
7 繰 入 金	499,207,000	0	0	0.0
8 繰 越 金	525,600	31,416,574	31,416,574	著増
9 諸 収 入	6,000	0	0	0.0
歳 入 合 計	3,495,192,600	1,794,372,420	1,438,469,520	41.2

繰越額を含む予算現額 3,495,192,600 円に対し、収入済額は 1,438,469,520 円で、収入率は 41.2%であった。

歳入の主なものは、保険料、国庫支出金、支払基金交付金及び県支出金である。

歳出

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(C)	執行率 (B/A)
1 総 務 費	211,239,600	39,656,017	171,583,583	18.8
2 保 険 給 付 費	3,152,342,000	1,365,210,912	1,787,131,088	43.3
3 財政安定化基金拠出金	1,000	0	1,000	0.0
4 地 域 支 援 事 業 費	80,023,000	36,541,451	43,481,549	45.7
5 諸 支 出 金	41,587,000	292,486	41,294,514	0.7
6 公 債 費	7,000,000	0	7,000,000	0.0
7 予 備 費	3,000,000	0	3,000,000	0.0
歳 出 合 計	3,495,192,600	1,441,700,866	2,053,491,734	41.2

繰越額を含む予算現額 3,495,192,600 円に対し、支出額は 1,441,700,866 円で、執行率は 41.2%であった。

歳出の主なものは、総務費及び保険給付費である。

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

・高齢者が自立して健康的な日常生活が過ごせるように、関係課と連携して介護予防の推進を図り、介護対象者の増加及び保険給付の抑制を図りたい。

・保険料については、現年度分の収納率に対し、滞納繰越分の収納率は低い水準にあるため、納付指導を的確に行い、収納率の向上に一層努められたい。

6 居宅介護予防支援事業特別会計

予算の執行状況

歳入

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 サービス事業収入	11,559,000	6,488,900	6,488,900	56.1
2 繰越金	5,790,000	7,712,746	7,712,746	133.2
3 諸収入	1,000	0	0	0.0
歳入合計	17,350,000	14,201,646	14,201,646	81.9

予算現額 17,350,000 円に対し、収入済額は 14,201,646 円で、収入率は 81.9%であった。
歳入の主なものは、サービス事業収入及び繰越金である。

歳出

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(C)	執行率 (B/A)
1 サービス事業費	17,250,000	4,819,212	12,430,788	27.9
2 予備費	100,000	0	100,000	0.0
歳出合計	17,350,000	4,819,212	12,530,788	27.8

予算現額 17,350,000 円に対し、支出額は 4,819,212 円で、執行率は 27.8%であった。
歳出の主なものは、サービス事業費である。

指摘事項・指導事項・要望事項

- ・なし。

7 訪問看護事業特別会計

予算の執行状況

歳入

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 サービス事業収入	61,702,000	13,538,282	13,244,021	21.5
2 財 産 収 入	52,000	33,952	33,952	65.3
3 繰 入 金	999,000	0	0	0.0
4 繰 越 金	1,000	345,001	345,001	著増
5 諸 収 入	246,000	21,680	21,680	8.8
歳 入 合 計	63,000,000	13,938,915	13,644,654	21.7

予算現額 63,000,000 円に対し、収入済額は 13,644,654 円で、収入率は 21.7%であった。
歳入の主なものは、サービス事業収入である。

歳出

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(C)	執行率 (B/A)
1 サービス事業費	61,948,000	22,483,733	39,464,267	36.3
2 諸 支 出 金	52,000	33,952	18,048	65.3
3 予 備 費	1,000,000	0	1,000,000	0.0
歳 出 合 計	63,000,000	22,517,685	40,482,315	35.7

予算現額 63,000,000 円に対し、支出額は 22,517,685 円で、執行率は 35.7%であった。
歳出の主なものは、サービス事業費である。

指摘事項・指導事項・要望事項

・なし。

8 下水道事業特別会計

予算の執行状況

歳入

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 分担金及び負担金	14,956,000	14,804,450	11,739,680	78.5
2 使用料及び手数料	211,113,000	80,566,036	64,526,844	30.6
3 国庫支出金	51,941,000	0	0	0.0
4 繰入金	694,519,000	0	0	0.0
5 繰越金	1,000	500,207	500,207	著増
6 諸収入	13,882,000	0	0	0.0
7 市債	445,500,000	0	0	0.0
歳入合計	1,431,912,000	95,870,693	76,766,731	5.4

予算現額 1,431,912,000 円に対し、収入済額は 76,766,731 円で、収入率は 5.4%であった。歳入の主なものは、使用料及び手数料である。

歳出

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(C)	執行率 (B/A)
1 下水道費	410,399,000	121,726,425	288,672,575	29.7
2 浄化槽費	54,779,000	13,565,828	41,213,172	24.8
3 公債費	965,402,000	480,644,117	484,757,883	49.8
4 予備費	1,332,000	0	1,332,000	0.0
歳出合計	1,431,912,000	615,936,370	815,975,630	43.0

予算現額 1,431,912,000 円に対し、支出額は 615,936,370 円で、執行率は 43.0%であった。歳出の主なものは、下水道費及び公債費である。

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

- ・歳入では事業全体の収入率が 5.4%と低く、その内容も、主な財源である繰入金や市債の依存度が高いので、綿密な計画のもと事業の効率化に取り組まれない。
- ・下水道受益者負担金及び下水道使用料の収入未済額については、計画的な徴収などによりその解消に努められたい。

9 簡易水道事業特別会計

予算の執行状況

歳入

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	収入率 (C/A)
1 分担金及び負担金	2,343,000	1,382,400	1,058,400	45.2
2 使用料及び手数料	243,880,000	90,351,553	86,464,395	35.5
3 国庫支出金	110,881,000	0	0	0.0
4 財産収入	1,000	0	0	0.0
5 繰入金	234,900,000	0	0	0.0
6 繰越金	2,191,200	2,690,000	2,690,000	122.8
7 諸収入	4,594,000	1,678,560	1,678,560	36.5
8 市債	316,000,000	72,200,000	72,200,000	22.8
歳入合計	914,790,200	168,302,513	164,091,355	17.9

繰越額を含む予算現額914,790,200円に対し、収入済額は164,091,355円で、収入率は17.9%であった。

歳入の主なものは、使用料及び手数料並びに市債である。

歳出

(単位：円・%)

科 目	予算現額(A)	支出額(B)	予算残額(C)	執行率 (B/A)
1 簡易水道事業費	289,377,000	89,684,288	199,692,712	31.0
2 環境衛生施設整備費	448,064,200	121,348,400	326,715,800	27.1
3 公債費	174,349,000	85,699,881	88,649,119	49.2
4 予備費	3,000,000	0	3,000,000	0.0
歳出合計	914,790,200	296,732,569	618,057,631	32.4

繰越額を含む予算現額914,790,200円に対し、支出額は296,732,569円で、執行率は32.4%であった。

歳出の主なものは、簡易水道事業費及び環境衛生施設整備費である。

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

- ・今後とも計画的な事業執行により経費節減と経営の効率化に努力されたい。
- ・水道料金の収入未済額については、その解消に努められたい。

10 財産区特別会計

予算の執行状況

歳入・歳出

(単位：円)

会 計 名	予算現額(A)	収入済額(B)	支出額(C)	収支差引残高 (B-C)
大 藤 財 産 区	4,475,000	4,921,364	2,217,728	2,703,636
神 金 財 産 区	5,912,000	1,557,466	41,244	1,516,222
萩 原 山 財 産 区	16,792,000	13,161,913	9,759,430	3,402,483
竹 森 入 財 産 区	925,000	611,210	87,036	524,174
岩崎山保護財産区管理会	599,000	381,895	17,408	364,487

各財産区とも、順調な予算執行を行っている。

指摘事項・指導事項・要望事項

・なし。

11 水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出の状況

収益的収入

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	調定済額(B)	内消費税額	収入率 (B/A)
水道事業収益	483,384,000	192,167,232	11,091,350	39.8
1 営業収益	419,388,000	152,057,890	11,052,936	36.3
2 営業外収益	63,983,000	40,109,342	38,414	62.7
3 特別利益	13,000	0	0	0.0

予算現額 483,384,000 円に対し、調定済額は 192,167,232 円で収入率は 39.8%であった。
水道事業収益のうち主なものは、営業収益の給水収益であり、営業外収益では長期前受金戻入及び雑収益である。

収益的支出

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	支出済額(B)	内消費税額	執行率 (B/A)
水道事業費用	447,573,000	171,599,842	5,213,895	38.3
1 営業費用	413,763,000	159,928,886	5,209,928	38.7
2 営業外費用	28,600,000	11,617,412	0	40.6
3 特別損失	210,000	53,544	3,967	25.5
4 予備費	5,000,000	0	0	0.0

予算現額 447,573,000 円に対し、支出済額は 171,599,842 円で、執行率は 38.3%であった。
水道事業費用のうち主なものは、営業費用の配水及び給水費、原水及び浄水費並びに総係費であり、営業外費用では支払利息及び企業債取扱諸費である。

(2) 資本的収入及び支出の状況

資本的収入

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	調定済額(B)	内消費税額	収入率 (B/A)
資 本 的 収 入	18,207,000	1,079,200	79,940	5.9
1 負 担 金	5,355,000	1,069,200	79,200	20.0
2 補 償 金	12,852,000	0	0	0.0
3 固 定 資 産 売 却	0	10,000	740	0.0

予算現額 18,207,000 円に対し、調定済額は 1,079,200 円で収入率は 5.9%であった。
資本的収入のうち主なものは、負担金である。

資本的支出

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	支出済額(B)	内消費税額	執行率 (B/A)
資 本 的 支 出	181,518,000	60,628,042	2,070,631	33.4
1 建 設 改 良 費	115,792,000	27,962,376	2,070,631	24.1
2 企 業 債 償 還 金	65,726,000	32,665,666	0	49.7

予算現額 181,518,000 円に対し、支出済額は 60,628,042 円で、執行率は 33.4%であった。
資本的支出のうち主なものは、建設改良費の取水配水設備費、固定資産購入費及び企業債償還金である。

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

・水道料金の収入未済額の解消など給水収益の向上を図るとともに、引き続き経営の効率化と節減に努め各種施設整備に取り組みたい。

12 勝沼ぶどうの丘事業会計

(1) 収益的収入及び支出の状況

収益的収入

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	調定済額(B)	内消費税 及び入湯税額	収入率 (B/A)
事業収益	1,036,036,000	512,354,354	42,530,249	49.5
1 営業収益	1,031,860,000	512,237,133	42,530,249	49.6
2 営業外収益	4,176,000	117,221	0	2.8

予算現額1,036,036,000円に対し、調定済額は512,354,354円で、収入率は49.5%であった。
事業収益のうち主なものは、営業収益の利用収益及び売店収益であり、営業外収益では受取利息及び配当金であった。

収益的支出

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	支出済額(B)	内消費税 及び入湯税額	執行率 (B/A)
事業費用	1,020,422,000	456,285,458	34,623,750	44.7
1 営業費用	985,984,000	447,431,333	25,769,625	45.4
2 営業外費用	34,338,000	8,854,125	8,854,125	25.8
3 予備費	100,000	0	0	0.0

予算現額1,020,422,000円に対し、支出済額は456,285,458円で、執行率は44.7%であった。
事業費用のうち主なものは、営業費用の販売費及び施設経費であり、営業外費用では消費税及び入湯税である。

(2) 資本的収入及び支出の状況

資本的収入

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	調定済額(B)	内消費税額	収入率 (B/A)
資 本 的 収 入	0	0	0	—

資本的支出

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	支出済額(B)	内消費税額	執行率 (B/A)
資 本 的 支 出	23,500,000	0	0	0.0

予算現額 23,500,000 円に対し、9 月末現在未執行である。

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

- ・上半期について経営面では 58,999,015 円の純利益を得ているが、今後とも観光事業の拠点として市内外への情報発信に努められ各種の事業展開を行うなど経営努力をされたい。
- ・会計等事務については、ぶどうの丘で策定された事務改善報告書等を踏まえ、引き続き適切な事務処理に努められたい。

13 勝沼病院事業会計

(1) 収益的収入及び支出の状況

収益的収入

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	調定済額	内消費税額	収入率 (B/A)
病 院 事 業 収 益	25,283,000	407	0	0.0
1 医 業 外 収 益	25,283,000	407	0	0.0

予算現額 25,283,000 円に対し、調定済額は 407 円であった。
病院事業収益は医業外収益の受取利息及び配当金である。

収益的支出

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	支出済額(B)	内消費税額	執行率 (B/A)
病 院 事 業 費 用	25,283,000	1,847,109	28,000	7.3
1 医 業 費 用	22,551,000	978,000	28,000	4.3
2 医 業 外 費 用	2,731,000	869,109	0	31.8
3 予 備 費	1,000	0	0	0.0

予算現額 25,283,000 円に対し、支出済額は 1,847,109 円で、執行率は 7.3%であった。
病院事業費用のうち主なものは、医業費用の賃借料であり、医業外費用では支払利息である。

(2) 資本的収入及び支出の状況

資本的収入

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	調定済額	内消費税額	収入率 (B/A)
資 本 的 収 入	10,545,000	19	0	0.0
1 一般会計負担金	10,525,000	0	0	0.0
2 企 業 債	0	0	0	—
3 基金積立金利息	20,000	19	0	0.1

予算現額 10,545,000 円に対し、調定済額は 19 円であった。
資本的収入は基金積立金利息である。

資本的支出

(単位：円・%)

区 分	予算現額(A)	支出済額(B)	内消費税額	執行率 (B/A)
資 本 的 支 出	22,726,000	8,192,361	214,074	36.1
1 建設改良費	12,080,000	2,890,000	214,074	23.9
2 企業債償還金	10,626,000	5,302,342	0	49.9
3 基金積立金	20,000	19	0	0.1

予算現額 22,726,000 円に対し、支出済額は 8,192,361 円で、執行率は 36.1%であった。
資本的支出のうち主なものは、建設改良費の施設整備費であり企業債償還金では元金償還金である。

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

・指定管理者である財団法人山梨厚生会とより良い連携を図りながら、地域に根ざした医療機関としての役割を果たすよう努められたい。

14 基金

(単位：円)

基金名	年度当初額	9月30日現在高	増減
財政調整基金	916,475,669	916,609,719	134,050
減債基金	150,830,714	150,842,365	11,651
公共施設整備基金	311,731,803	311,960,750	228,947
社会福祉基金	489,800,789	489,800,789	0
家庭小口資金貸付基金	15,471,570	15,535,570	64,000
中山間農村地域活性化基金	20,865,311	20,865,311	0
土地開発基金	341,553,144	341,560,021	6,877
介護保険給付費支払準備基金	44,038,927	44,062,213	23,286
国民健康保険財政調整基金	166,012,498	162,595,695	△3,416,803
訪問看護財政調整基金	106,654,844	106,688,796	33,952
合併振興基金	1,197,925,356	1,148,825,356	△49,100,000
ふるさと支援基金	754,345,001	581,515,617	△172,829,384
合計	4,515,705,626	4,290,862,202	△224,843,424

指摘事項・指導事項

・なし。

要望事項

・今後とも引き続き、安全性の確保と効率的な運用に十分配慮されて運用されたい。